

# 産業建設グループ集約、市民の複雑な思い受けとめ対応を 公共交通、地域間格差を是正し、空白地域を解消せよ！

市議会は30日で終わります。今回は25日に行った私の一般質問を中心に報告します。今回は、総合事務所産業建設グループの集約の問題と公共交通のあり方の問題で市長に質問しました。以下はその一部です。

【橋爪】市長は昨日、総合事務所産業建設グループの集約についてふれ、最初は反対もあつたが丁寧の説明し、市民の声を傾ける中で理解していただいた、そんな趣旨のことを言われたが、「理解していただいた」というのはいいかなものか。関係市民はじつと我慢し、複雑な思いで今年度の取り組みを見ている。四月から導入された受付管理システムの成果と課題についてどう整理しているか。

【市長】このシステムを導入したことにより、業務の処理状況を集約グループ内の職員が一目で把握できるようになり、その結果、集約元と集約先の事務所間の情報伝達が円滑になり、遺漏のない確実な事務処理につながっている。今後

も確実かつ効果的な事務処理のため、システムの改善に努めていく。

【橋爪】今年度は試行で、来年以降は本実施とする。試行の段階で問題が起きても、その都度改善し、本実施に向かうという説明だった。試

行開始から約半年が経過したいま、どうか、改善してきたことはあったのか、改善に向かって検討していることがあるのか。

【市長】現在、改めて改善すべき特段の課題はなく、具体的に改善すべき事項はないものと認識している。

【橋爪】そうだろうか。例えば、受付管理システム、確かにいいシステムだと思うが、市民サービスが向上しないといけない。道路の補修や草刈り等でスムーズにいかない事例があつた。どうしてこういうことになるのか。

【笹川自治・市民環境部長】いくらいシステムでも入力しなければどうにもならない。ヒューマンエラーをどうなくすかが課題だ。

【橋爪】牧区の産業建設グループは板倉に集約された。その結果、県の上越東維持管理事務所のエリアとのずれが発生しているが、どう対応しているか。

【市長】年度当初に板倉区と牧区の総合事務所長が直接、県関係機関に出向き、改めて本取組について説明するとともに、牧区についてはこれまでと同様、牧区総合事務所を窓口として取り扱うことを確認してきた。県関係機関との連携は確実に行われている。

## 移動手段確保は市の責務です

【橋爪】合併後9年目に入らる中で、公共交通をどうしていくのかが問われている。総務常任委員会は7月に岡山県高梁市を訪れ、同市の公共交通の取り組みについて学んできたが大変感動した。合併後、旧自治体間における格差是正を意識し、公共交通空白地域の解消に取り組み、



【クルマバハグマ】漢字で「車葉白熊」と書きます。キク科。葉は車状に輪生し、8月から9月にかけて白い花を咲かせます。花が全部咲いたときは、線香花火とそっくりです。写真は吉川区下町にて撮影。

ドアツウドアでデマンドバスを走らせ、走行区域を拡大していつている。先進事例に学んで、当市でも空白地域の解消、地域間格差是正の努力をすべきだ。公共交通の課題をどう認識しているか。また、市総合交通計画などは見直しの時期に来ている。どうするか。

【市長】路線バスの現実は大変厳しい状況にあるが、公共として移動に制約のある人の足は確実に守っていく必要がある、引き続き利便性の向上と効率化に向け、取組を進めてまいりたい。今後は、これまでの取組で得られた課題や知見を基に、公共交通に頼らざるを得ない方々の移動権をいかにして確実に確保していくのかという視点をもち、利用者や地域の意見と事業者との調整を図るとともに、上越市地域公共交通活性化協議会での議論を踏まえ、引き続き地域の実情に合った効率的で持続可能な輸送形態への見直しを進めていく。

【橋爪】私は32歳まで吉川区尾神の蛍場というところが住んでいた。いま、ここには3世帯4人が住んでいる。高齢化が進む中で、買い物に行くにも、病院に行くにもみんな困っている。こういうところは市内にもまだあるはずだ。市長が「移動権」という言葉を使われたが、公共交通を使ってきたらちゃんと移動できる保障をすべきだ。

【竹田企画政策部長】路線バスに限らず、いろいろな手法で市民の移動する足をどう確保していくか、考えねばならないと思っている。



トラオさんから源中学時代の同級生のシゲルさんが亡くなったという知らせがあったのは二週間ほど前でした。急な話でびっくりしました。体調がすぐれないという話は聞いていましたが、こんなにも早く別れなければならぬとは思いませんでした。シゲルさんは半入沢（なかんぞ）の出身です。子どもの頃、私の住んでいた蜷場の隣の集落だということもあって、ときどき一緒に遊んだものです。ただ、大人になつてからは近くに住んでいたものの、彼も私も忙しく、同級会でもないかぎりなかなか会えませんでした。

葬儀の日。開式の時間よりもかなり早く出かけたつもりでしたが、式場となった自宅にはすでに親戚や友人など大勢の人たちが到着し、座っておられました。そつと後ろの方も見ると、ショウイチさん、トラオさん、エイイチさんなど同級生の姿もありました。みんな最後の別れをしたかったのです。

開式までの時間、シゲルさんの遺影をじつと見ながら思い出したのは、子ども時代の遊びのことでした。半入沢の神社境内や「ミズカミ」（屋号）の脇の広場などで一緒に遊びました。遊びの大将は「ミズカミ」のトキオさんです。パッチ、チャンバラ、山騒ぎ、なんでもトキオさんの指示で動いていたように記憶しています。

ある春のことでした。シゲルさんの家の近くの山で誰かがムジナの穴を発見、みんなで捕まえようということになりました。生の杉の葉を入り口付近で燃やしてムジナをいぶり出そうという作戦でした。ところが、穴の中に煙をうまく送りこむことができず、かえってこちらの方が煙が目にしみて、見事に失敗してしまいました。いまでも思い出すと、笑ってしまいます。

葬儀では地元集落の二人のお坊さんがお経を読み、参列者が焼香しました。弔電が披露された後に、遺族を代表して挨拶したのは長男のAさんです。

「父は普段から口数の少ない人でした。そんな父親が私に声をかけてくれたのは、専門学校へ入学することになった時でした。父は柿崎駅まで車で送ってくれ、その時、何度か言ってくれたのです。『頑張っつーいや』と……」

Aさんは悲しさがぐつとこみ上げてくると、左横に首をちょこつと振り、一呼吸置いて、言葉が続きました。父親への思いが込められた挨拶に私も涙が流れました。

葬儀が終わって出棺の準備の時、家族や親戚の人たちが続いて、たくさん人たちが棺の中に花を入れました。身内の人以外でも故人と係わりのある人はみんな花を入れる、いいもんです。私たちが同級生も花を棺の中に入れて、「ゆっくり休んでくんないや」などの声をかけながら手を合わせました。

出棺の時はあいにくの悪天候でした。強い雨と風が吹き、しばらく玄関へは出られませんでした。その時、ふと、壁にかけてあった詩が目に入りました。詩のタイトルは「ありがとう」。本文には「ありがとうの心をもてば、人にやさしくできます。ありがとうの心をもてば、人と仲良くできます。ありがとうの心をもてば、新しい発見や出逢いがあるようになります」と書いてあります。素敵な詩でした。

木の板に書かれた詩にはフクロウの絵が描かれていました。そのフクロウは頭の形といい、目の位置といい、なんとなく長男のAさんに似ていました。そしてフクロウの絵を見て思い出したのは、Aさんが挨拶した時の首を左横に振る仕草です。あの仕草、父親のシゲルさんゆずりだ、そう思った途端、再び涙が頬を伝わりました。



## 中山間地での除雪機購入助成、今後も継続へ

市議会総務常任委員会が17日から3日間開催されました。中心議案は昨年度の一般会計歳入歳出決算の認定です。私は市民生活に係わる問題をいくつもとりあげました。

このうち地域支え合い体制づくり事業は、昨年度途中から取り組んだ事業です。この事業は、中山間地にあつて、高齢化率が50%を越えていることなどの条件を満たした集落が除雪機を購入する場合に最高で250万円補助することになっていました。

32の集落で手を上げ、このうち11が採択されました。採択されなかった集落については本年度の市の単独補助事業（最高額は200万円が基本）で救済されたのですが、昨年度の事業よりも補助最高額が少なくなりました。私は、「平成25年度では除雪機購入の助

成内容が変わることを採否の段階で伝えたか」と尋ねたところ、行政側は、「25年度の予算平成の中で救済の措置をとることを具体化したので、お知らせの段階ではそのことを伝えることはできなかった」と答えました。

また、今後この事業を継続していくのかとの問いには、「高齢化の進行は確実だ。高齢化率50%を越える集落は次から次へと出てくると思う。今後の中山間地の住民を守るのは地域の支え合いだと思っている。該当する集落が出てくれば、同じような救済をするべきであろうと思っている」と答えました。



21日の吉川福祉まつりでのシーン。背中の子どもさんがかわいかったです。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果（測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv（マイクロシーベルト）だと

	9月18日(水)	9月25日(水)
上越南消防署	0.030	0.033
上越北消防署	0.050	0.050
新井消防署	0.040	0.043
頸北消防署	0.040	0.046
頸南消防署	0.040	0.057
東頸消防署	0.043	0.040
高士分遣所	0.047	0.050
名立分遣所	0.043	0.050